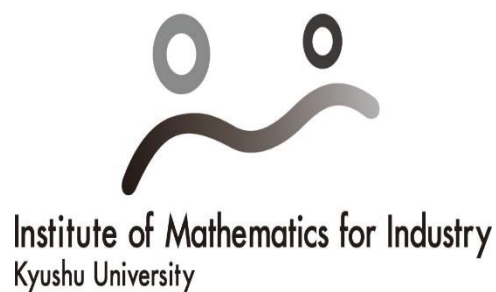


平成 31 年度

九州大学大学院数理学府修士課程

学 生 募 集 要 項



(募 集)	(ペ ー ジ)
一 般 選 抜	1 ~ 7
社 会 人 特 別 選 抜	8 ~ 12

(一般選抜)

1. 出 願 資 格

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は平成 31 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 31 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は文部科学大臣が定める日以降に修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学府において、本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達したもの
- (11) 前項までの規定にかかわらず、平成 31 年 3 月 31 日までに次の各号のいずれかに該当する者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの
 - (a) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
 - (b) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - (c) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - (d) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

2. 募 集 人 員

専 攻	コ ー ス	募 集 人 員
数理学専攻	数理学コース	計54名 〔内MMAコース〕 は8名程度
	MMAコース	

数理学府教員全員が両コースを担当する。

3. 出願資格の事前審査

「出願資格(9),(10)又は(11)」により出願しようとする者は、修学に必要な基礎的な授業科目の履修の有無その他について、次のとおり出願資格の事前審査を行うので、出願に先立ち下記に掲げる書類を取りそろえ、本学府が定める期間内に本学府長宛て願出すること。(郵送の場合は、書留郵便とし、封筒表面に「事前審査申請書在中」と朱書すること。)

(1) 事前審査に必要な書類

(a) 出願資格(9)又は(10)により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙に本人が記入したもの。)
- ② 学校教育等履歴書(本学府所定の用紙を使用すること。)
- ③ 当該学校等の成績証明書
- ④ 大学を卒業した者と同等以上の学力がある事を証明できる書類(例えば、研究論文、特許公報、英語能力の証明書、各種資格取得証明書、国際的活動経験や実務経験を証明する書類等。)
- ⑤ 志願理由書(本学府所定の用紙を使用し、数理学コースを志望する場合は希望する指導教員名を必ず1名のみ該当欄に記入すること。)
- ⑥ 出願資格事前審査結果通知用封筒(封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手82円分を貼っておくこと。)

(b) 出願資格(11)により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙に本人が記入したもの。)
- ② 推薦書(本学府所定の用紙に所属大学長(学部長)又は指導教員が記入し、発行者が厳封したもの。)
- ③ 成績証明書(2年次後期までの成績が記載されたもので、発行者が厳封したもの。)
- ④ 出願資格事前審査結果通知封筒(封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手82円分を貼っておくこと。)

(注) コースについては、**4. コースの志望** を参照のこと。

(2) 事前審査受付期間

平成30年6月11日(月)～6月15日(金)まで。各日とも午前9時から午後5時まで。

(郵送の場合も6月15日(金)午後5時までに必着のこと。)

(3) 事前審査の結果通知

平成30年6月25日(月)頃に本人に通知する。

4. コースの志望

本学府数理学専攻の入学者選抜は志望コース別に実施する。

数理学コースを志望する学生は、13, 14 ページの指導教員一覧から第1希望および第2希望の指導教員を選び受験する。

数理学コース：数学・数理科学の研究と修士論文作成の指導。修了者には、修士（数理学）の学位を授与。

MMAコース：数理的要請を持つ多様な学科からの学生を受け入れ、高い数学的能力を備え広い視野をもった高度職業人の養成。修了者には、修士（技術数理学）の学位を授与。

5. コースの併願

数理学コースおよびMMAコースの間の併願は行わない。

6. 願書受理期間

平成30年6月26日（火）から同年7月6日（金）午後5時まで。

（郵送の場合も7月6日（金）午後5時までに必着のこと。）

7. 選抜方法

下記8, 9のとおり、学力考査・口頭試問が実施される。その試験会場は学力考査前日に伊都キャンパスのウエスト1号館C棟2階エントランスホールの掲示板に掲示する。これらの結果と出身大学長（学部長）が発行する成績証明書により選抜を行う。

8. 学 力 考 査

数理学コース

- (1) 基礎科目の学力考査を8月21日（火）午前9時～11時30分を実施する。6ページの基礎科目の項を目安として微分積分学と線形代数学に関して出題される。
- (2) 専門科目の学力考査を8月21日（火）午後1時～3時を実施する。6ページの専門科目の項を参照すること。

MMAコース

学力考査を8月21日（火）午前9時～11時30分を実施する。6ページの出題科目の項を参照すること。

9. 口 頭 試 問

数理学コース

8月22日（水）午前9時から、全ての数理学コース受験者に対して口頭試問を実施する。

MMAコース

8月21日（火）午後1時から、全てのMMAコース受験者に対して口頭試問を実施する。

（予備日） 8月23日（木）を、台風等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とする。

10. 提出書類

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受理期間内に到着するよう、九州大学理学部等事務部学生支援係（〒819-0395 福岡市西区元岡 744）宛て、書留とし郵送すること。その際、封筒表面に「大学院数理学府修士課程入学願書在中」と朱書すること。また、直接同係に提出してもよい。

- (1) 入学願書・受験票（本学府所定の用紙を使用すること。入学願書は裏面も記入のこと。）
- (2) 出身大学長（学部長）が発行する成績証明書

（注）出願資格(9)又は(10)で出願する者は除く。

※九州大学理学部在籍中で平成31年3月卒業見込みの者又は九州大学理学部卒業者は提出不要です。

- (3) 大学卒業（見込）証明書又は大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（見込）証明書
- （注）出願資格(9)、(10)又は(11)で出願する者は除く。

※九州大学理学部在籍中で平成31年3月卒業見込みの者又は九州大学理学部卒業者は提出不要です。

- (4) 写真 2 枚（正面上半身無帽で出願前 3 か月以内に撮影したものを入学願書・受験票の所定の箇所に貼りつけること。）
- (5) 入学検定料(30,000 円)

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、①コンビニエンスストア、または②クレジットカード等により納付すること。（海外からの支払いの場合は、②のみ。）

納付方法の詳細は、本要項に綴込み（15 ページ）の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。

なお、振込手数料は、志願者が負担することとなる。

【① コンビニエンスストアで決済した場合】

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を綴込みの「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

【② クレジットカード等で決済した場合】

プリントアウトした「受付完了画面」を出願書類と共に提出すること。

納付可能期間 平成 30 年 6 月 19 日（火）～ 平成 30 年 7 月 6 日（金）

（お願い） e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

- (6) 受験票返信用封筒（定形）1 枚（郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手 82 円分（速達を希望する場合は 362 円分）を貼っておくこと。）（受験票は、7 月 20 日頃発送予定）
- （注）外国人留学生は事前に九州大学理学部等事務部学生支援係に問い合わせること。
- (7) 住所票 本要項に綴込みの用紙（シール）に志願者の住所（入学願書の記載と同じ）・郵便番号・氏名・志望コースを記入すること。

11. 合格者発表

8 月 29 日（水）午前 10 時、伊都キャンパスのウエスト 1 号館 C 棟 2 階エントランスホールの掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人にも通知する。なお、合格・不合格についての電話等による問い合わせには一切応じない。

午前 10 時に **13** に示す数理学府のホームページでも合格者を発表する。

12. 注 意 事 項

- (1) 募集要項を郵送により請求する場合は、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手 250 円分を貼った角 2 封筒（タテ 33cm×ヨコ 24cm）を同封し、九州大学理学部等事務部学生支援係（〒819-0395 福岡市西区元岡 744）に申し込むこと。その際、「数理学府修士課程学生募集要項請求」と朱書すること。
- (2) 出願手続後の変更、検定料の払い戻しはできない。
- (3) ① 入学料 282,000 円（予定）
② 授業料 267,900 円〔年額 535,800 円〕（予定）
上記納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用される。

13. 九州大学大学院数理学府のホームページ

<http://www.math.kyushu-u.ac.jp/>

このページの「受験生の皆様」から「入学・入試案内」をたどると、「大学院数理学府入学案内」が表示される。そこには、過去の入試問題と入手方法等が提示されている。

14. 平成 31 年度九州大学大学院システム生命科学府博士課程入学試験における併願について

九州大学大学院数理学府修士課程数理学コースを受験する者は、システム生命科学府博士課程（専門分野は生命情報科学）を第 2 志望として出願することができる。その場合には、別途、理学部等事務部学生支援係宛て TOEIC 又は TOEFL のスコアシートの写しを提出する必要がある。

なお、第 2 志望のシステム生命科学府としての考査は、出願者の数理学府修士課程入学試験結果及び入学願書を参考にして面接のみを行う。詳細な案内は、受験票配付時に添付する。

また、本学府の入学試験を受験しなかった場合、併願先のシステム生命科学府を受験することはできないので留意すること。

面接実施日：平成 30 年 9 月 26 日（水）

面接場所：伊都キャンパス

問い合わせ先：九州大学理学部等事務部学生支援係（TEL:092-802-4038）

15. MMA コースについて

- ・ MMA（Master of Mathematics Administration）は、技術版の MBA として国際的な認知が高い MO T の数学版である。
- ・ MMA コースの目的は、数学が背景にある基礎研究の意義を理解し、研究開発のコーディネートやマネジメントに大局観と長期的視野をもってあたることができる人材の育成である。
- ・ 学生毎に 1 人のスーパーバイザーを置く。異なるテーマ・教員の下で 4 期にわたってセミナー指導を受ける。セミナーでは定期的な成果レポート作成を課し、TA が添削するなどきめ細かい教育を施し、高い数学的能力の獲得と広い視野の涵養を目指す。
- ・ カリキュラム等の詳細は、上記九州大学大学院数理学府のホームページの入学案内のページから参照することができる。

16. 入学試験説明会

平成30年6月16日(土) 14:00~16:00

九州大学 伊都キャンパス ウェスト1号館D棟4階D-413 IMI オーディトリウム

17. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を常時受け付けている。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前のなるべく早い時期に理学部等事務部学生支援係まで相談すること。

なお、平成30年6月15日(金)までに連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もあるので、十分注意すること。

18. 長期履修制度について

本学では、学生が職業を有する、あるいは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入している。

この制度の適用を申請し認められた場合、納付する授業料総額は標準修業年限分ではなく、標準修業年限分の授業料を計画した履修年数で除した額を毎年納入することになる。

なお、手続き等の詳細は、入学手続き時に通知する。

19. 出題科目

数理学コースの出題科目

基礎科目

以下の科目の中から4問出題され、全問に対して解答する。

微分積分学：数列および関数列の極限、級数、1変数関数および多変数関数の連続性、

微分・積分(テイラー展開、極値問題、陰関数定理、広義積分、面積分と線積分を含む)

線形代数学：行列の基本変形と連立一次方程式、行列式、線形空間と線形写像、固有値と固有ベクトル、

内積、行列の標準化(Jordan標準形を含む)

専門科目

以下の科目の中から10問程度出題される。その中から2問を選択し、解答する。

群・環・体、集合と位相、曲線・曲面の微分幾何、多様体論、位相幾何学(複体とホモロジー)、複素関数論、常微分方程式論、測度論・ルベーグ積分論、数理統計、計算機数学

MMAコースの出題科目

以下の科目の中から7問程度出題される。その中から3問を選択し、解答する。

微分積分、行列、常微分方程式、確率・統計、留数計算、フーリエ変換・フーリエ級数・ラプラス変換

○ 出願書類における個人情報の保護について

1. 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用する。
 - (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用する。
 - (2) 大学の成績証明書を、1年次における授業料免除等の修学支援業務で利用する。
2. 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学における入学者選抜に関する調査研究で利用する。
3. 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学理学部等事務部学生支援係
TEL. 092-802-4038 (ダイヤルイン)

(社会人特別選抜)

1. 出 願 資 格

官公庁，企業等に在職する者及びこれに準ずる者で，次のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって，本学府において，本学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本学府において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 31 年 3 月 31 日までに 22 歳に達した者
- (11) 前項の規定にかかわらず，平成 31 年 3 月 31 日までに次の各号のいずれかに該当する者であって，本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認める者
 - (a) 学校教育法第 83 条に定める大学に 3 年以上在学した者
 - (b) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - (c) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者
 - (d) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

2. 募 集 人 員

専 攻	コース	募集人員
数 理 学 専 攻	数理学コース	若 干 名

3. 出願資格の事前審査

「出願資格(9), (10)又は(11)」により出願しようとする者は、修学に必要な基礎的な授業科目の履修の有無その他について、次のとおり出願資格の事前審査を行うので、出願に先立ち下記に掲げる書類を取りそろえ、本学府が定める期間内に本学府長宛て願出すること。(郵送の場合は、書留郵便とし、封筒表面に「事前審査申請書在中」と朱書すること。)

(1) 事前審査に必要な書類

(a) 出願資格(9)又は(10)により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙に本人が記入したもの。)
- ② 学校教育等履歴書(本学府所定の用紙を使用すること。)
- ③ 当該学校等の成績証明書
- ④ 大学を卒業した者と同等以上の学力がある事を証明できる書類(例えば、研究論文、特許公報、英語能力の証明書、各種資格取得証明書、国際的活動経験や実務経験を証明する書類等。)
- ⑤ 志願理由書(本学府所定の用紙を使用し、希望する指導教員名を必ず1名のみ該当欄に記入すること。)
- ⑥ 出願資格事前審査結果通知用封筒(封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手82円分を貼っておくこと。)

(b) 出願資格(11)により出願しようとする者

- ① 出願資格事前審査申請書(本学府所定の用紙に本人が記入したもの。)
- ② 推薦書(本学府所定の用紙に所属大学長(学部長)又は指導教員が記入し、発行者が厳封したもの。)
- ③ 成績証明書(2年次後期までの成績が記載されたもので、発行者が厳封したもの。)
- ④ 出願資格事前審査結果通知封筒(封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手82円分を貼っておくこと。)

(2) 事前審査受付期間

平成30年6月11日(月)～6月15日(金)まで。各日とも午前9時から午後5時まで。
(郵送の場合も6月15日(金)午後5時までに必着のこと。)

(3) 事前審査の結果通知

平成30年6月25日(月)頃に本人に通知する。

4. 願 書 受 理 期 間

平成30年6月26日(火)から同年7月6日(金)午後5時まで。
(郵送の場合も7月6日(金)午後5時までに必着のこと。)

5. 選 抜 方 法

下記6, 7のとおり、学力考査・口頭試問が実施される。その試験会場は学力考査前日に伊都キャンパスのウエスト1号館C棟2階エントランスホールの掲示板に掲示する。これらの結果と志願理由書及び出身大学長(学部長)が発行する成績証明書等により選抜を行う。

6. 学 力 考 査

8月21日(火)午前9時～11時30分に、全ての受験者に対して学力考査を実施する。以下の科目の中から4問出題され、全問に対して解答する。

微分積分学： 数列および関数列の極限，級数，1変数関数および多変数関数の連続性，

微分・積分（テイラー展開，極値問題，陰関数定理，広義積分，面積分と線積分を含む）

線形代数学： 行列の基本変形と連立一次方程式，行列式，線形空間と線形写像，固有値と固有ベクトル，

内積，行列の標準化（Jordan標準形を含む）

7. 口 頭 試 問

8月21日(火)午後1時から、全ての受験者に対して口頭試問を実施する。

8. 提 出 書 類

出願者は次の書類を取りそろえ、願書受理期間内に到着するよう、九州大学理学部等事務部学生支援係（〒819-0395 福岡市西区元岡 744）宛て、書留とし郵送すること。その際、封筒表面に「大学院数理学府修士課程社会人特別選抜入学願書在中」と朱書すること。また、直接同係に提出してもよい。

(1) 入学願書・受験票（本学府所定の用紙を使用すること。）

(2) 出身大学長（学部長）が発行する成績証明書

（注）出願資格(9)又は(10)で出願する者は除く。

(3) 大学卒業（見込）証明書又は大学評価・学位授与機構が発行する学位授与（見込）証明書

（注）出願資格(9)，(10)又は(11)で出願する者は除く。

(4) 志願理由書（本学府所定の用紙を使用，希望する指導教員名を必ず1名のみ該当欄に記入すること。）

(5) 合格後在職のまま入学する者は，所属長の受験許可書（本学府所定の用紙）を提出すること。

(6) その他，出願者は，所属長による推薦状（様式自由）を提出することができる。また，卒業論文，研究調査報告書等の業績を有する者は，それらの写しを提出することができる。

(7) 写真2枚（正面上半身無帽で出願前3か月以内に撮影したものを入学願書・受験票の所定の箇所に貼りつけること。）

(8) 入学検定料(30,000円)

入学検定料は，e-支払いサイト（<https://e-shiharai.net/>）へ事前申込の上，①コンビニエンスストア，または②クレジットカード等により納付すること。（海外からの支払いの場合は，②のみ。）

納付方法の詳細は，本要項に綴込み（15ページ）の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。

なお，振込手数料は，志願者が負担することとなる。

【① コンビニエンスストアで決済した場合】

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を綴込みの「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙」に貼付し，出願書類と共に提出すること。

【② クレジットカード等で決済した場合】

プリントアウトした「受付完了画面」を出願書類と共に提出すること。

納付可能期間 平成30年6月19日(火)～平成30年7月6日(金)

(お願い) e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」または「よくある質問」(<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>)を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

- (9) 受験票返信用封筒(定形)1枚(郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手82円分(速達を希望する場合は362円分)を貼っておくこと。)(受験票は、7月20日頃発送予定)
- (10) 住所票 本要項に綴込みの用紙(シール)に志願者の住所(入学願書の記載と同じ)・郵便番号・氏名・志望コースを記入すること。

9. 合格者発表

8月29日(水)午前10時、伊都キャンパスのウエスト1号館C棟2階エントランスホールの掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人にも通知する。なお、合格・不合格についての電話等による問い合わせには一切応じない。

午前10時に次のホームページでも合格者を発表する。

<http://www.math.kyushu-u.ac.jp/>

10. 注意事項

- (1) 募集要項を郵送により請求する場合は、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手250円分を貼った角2封筒(タテ33cm×ヨコ24cm)を同封し、九州大学理学部等事務部学生支援係(〒819-0395 福岡市西区元岡744)に申し込むこと。その際、「数理学府修士課程学生募集要項請求」と朱書すること。
- (2) 出願手続後の書類変更、検定料の払い戻しはできない。
- (3) 入学金 282,000円(予定)
授業料 267,900円〔年額 535,800円〕(予定)

上記納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

11. 入学試験説明会

平成30年6月16日(土) 14:00～16:00

九州大学 伊都キャンパス ウェスト1号館D棟4階D-413 IMI オーディトリウム

12. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を常時受け付けている。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前のなるべく早い時期に理学部等事務部学生支援係まで相談すること。

なお、平成30年6月15日(金)までに連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もあるので、十分注意すること。

13. 長期履修制度について

本学では、学生が職業を有する、あるいは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入している。

この制度の適用を申請し認められた場合、納付する授業料総額は標準修業年限分をよく、標準修業年限分の授業料を計画した履修年数で除した額を毎年納入することになる。

なお、手続き等の詳細は、入学手続き時に通知する。

○ 出願書類における個人情報の保護について

1. 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用する。
 - (1) 合格者の住所・氏名等を入学事務業務で利用する。
 - (2) 大学の成績証明書を、1年次における授業料免除等の修学支援業務で利用する。
2. 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用する。
3. 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

〒819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学理学部等事務部学生支援係
TEL. 092-802-4038 (ダイヤルイン)

九州大学大学院数理学府指導教員一覧

【教 授】

(平成31年4月1日の予定スタッフ)

教 員 名	研 究 指 導 内 容
稲 濱 讓	確率解析, 無限次元解析, ラフパス理論
岩 瀬 則 夫	トポロジー, 代数的位相幾何学, ループ空間
翁 林	代数幾何学, 数論的幾何学, 整数論
長 田 博 文	確率論, 拡散過程の均質化, フラクタル, 無限粒子系, ランダム行列
落 合 啓 之	代数解析学, 表現論, 特殊関数
隠 居 良 行 **	非線形偏微分方程式, Navier-Stokes方程式, 数学解析
梶 原 健 司	可積分系, 離散微分幾何
勝 田 篤	微分幾何学, スペクトル幾何学
金 子 昌 信	整数論, 保型形式
川 崎 英 文	最適化理論, 不動点定理, ゲーム理論, 折り紙の数理
小 磯 深 幸	微分幾何学, 幾何解析, 曲面論, 幾何学的変分問題
小 林 真 一	整数論
佐 伯 修	位相幾何学, 微分トポロジー, 特異点論, DNA結び目
白 井 朋 之	確率論, ランダム行列, ランダムウォーク
角 俊 雄 ※	代数的トポロジー, 変換群論
谷 口 説 男 ※	経路空間上の無限次元解析
辻 井 正 人	力学系理論, エルゴード理論
西 井 龍 映 *	時空間統計解析, 応用統計学, 統計モデリング
野 村 隆 昭 *	幾何学的調和解析, 等質ジージェル領域, 非結合的代数
原 隆	数理物理学, 確率論モデルと臨界現象, 場の量子論と臨界現象
廣 島 文 生	場の量子論, 作用素論的スペクトル解析, 汎関数積分
福 本 康 秀	流体力学, 渦運動, 電磁流体力学
藤 澤 克 樹	最適化問題, グラフ解析, 高性能計算
前 園 宜 彦	統計的推測の漸近理論, ノンパラメトリック推測
増 田 弘 毅	確率過程モデル, 統計的漸近理論
松 井 卓	数理物理学, 無限次元空間における関数解析
溝 口 佳 寛	ソフトウェア科学, グラフ変換理論, 計算理論
森 下 昌 紀	数論的位相幾何学, 素数と結び目, 代数体と3次元多様体
綿 谷 安 男 *	作用素環論, 作用素論

※は基幹教育院所属教員

*は平成31年3月末日定年退職予定

**の教員は平成31年度の募集をしないので志望しないこと。

【准教授】

(平成31年4月1日の予定スタッフ)

教員名	研究指導内容
阿部 拓郎	超平面配置に関する数学, 代数幾何学
石井 豊	力学系理論, カオス, 複素力学系
大津 幸男	微分幾何学
神本 丈	複素解析
神山 直之	離散最適化, グラフ理論, 計算量理論
鍛冶 静雄	トポロジー, 代数的位相幾何学, 応用トポロジー
権 寧魯	数論, 保型形式, 跡公式
今野 拓也	整数論, 保型形式, 表現論
斎藤 新悟 ※	古典的実解析学, 多重ゼータ値, 保険数理
笹平 裕史	トポロジー, ゲージ理論, Floer理論
高田 敏恵	トポロジー, 結び目・3次元多様体の不変量
高田 了	非線形偏微分方程式, Euler方程式, Navier-Stokes方程式, 調和解析学
田上 大助	数値解析, 数値流体力学, 数値電磁気学, 計算機援用設計
竹田 雄一郎	トポロジー, 数論的幾何学
CESANA Pierluigi	偏微分方程式, 変分法, 弾性理論, 連続体力学
千葉 逸人	常微分方程式, 偏微分方程式, 力学系理論, 函数解析
趙 康治	代数幾何学, 複素微分幾何学
手老 篤史	数理生物, 数理モデリング, 生物ネットワーク, 脳機能
新居 俊作	Dynamical System, 微分方程式, 応用解析
樋上 和弘	数理物理, 物性基礎論, 統計力学
廣瀬 慧	スパース推定, 多変量解析
増田 俊彦	作用素環
安田 雅哉	楕円曲線暗号, 準同型暗号, 代数幾何
吉田 寛	再生現象の数理モデル
脇 隼人	最適化, 連続最適化, 最適化ソフトウェア

※は基幹教育院所属教員